

第7回日本伝道会議（JCE7）テーマソング募集について

日本伝道会議は、日本および世界の宣教の前進のための集いです。
第7回日本伝道会議（JCE7）の2023年9月に開催に向け、下記の要領でテーマソングを募集いたします。

1. 目的および趣旨

第7回日本伝道会議の魅力をイメージさせ、諸教会からの祈りと参加を促す歌詞付きの楽曲の募集。

【第7回日本伝道会議概要】

テーマ：「おわり」から「はじめる」宣教協力
（多様性、デジタル化、本質を考える時代にできること）
開催場所：長良川国際会議場（岐阜市）
開催日程：2023年9月19日（火）～22日（金）
主催者：第7回日本伝道会議実行委員会

2. 募集期間

2021年12月1日（月）～2022年2月28日（月）

3. 応募資格

プロ、アマを問わず、宣教のために賜物を活かそうと願う方（グループも可）。
（未成年の場合、著作権等に係る JCE 実行委員会への帰属了承等のため、親権者の同意が必要）

4. 募集内容

曲と歌詞がセットで A4 サイズ五線譜に記載された楽譜およびデモ演奏。

- * 作詞者と作曲者は別人でも可。
- * 歌詞もしくは曲のみは無効。

・楽譜について

- * 伴奏譜もしくはコードを付けること。
- * メロディの下にすべての歌詩を書き入れるとともに、別紙で歌詞のみを付すこと。
- * 濃い鉛筆、万年筆、楽譜作成ソフトなどで明瞭に記し、PDF データにすること。
- * 匿名を希望しない場合は、作詞者、作曲者、編曲者を表記すること。

・デモ演奏について

- * 演奏および歌唱は応募者以外でも可能。
- * 演奏時間は5分以内。
- * YouTube 上に制限付き公開でアップロードし、その URL を応募用紙に記すこと。

5. 応募点数

応募はひとり（もしくは一組）二点まで。

6. 選考方法および結果発表

・選考方法

プロフェッショナルの音楽家および JCE 実行委員会での厳正な審査を経て、一般投票によって選定。

2022年3月 専門家による審査
4月 JCE7 実行委員会による承認
4月 一般投票
～8月

・結果発表

2022年9月の JCE7・1 年前大会で発表および JCE7 公式ホームページに掲載。

7. 採用

- ・上位3曲
- ・感謝状および副賞（第1位3万円、第2位1万円、第3位1万円、採用者（代表者）が18歳未満の場合、採用時の親権者に贈呈）、本大会でのプレゼンテーション機会の提供

8. 応募方法

応募用紙（添付）に楽譜データを添付し、電子メールでご応募ください。

- ・メールの件名は「テーマソング応募」と表記し送信してください。
- ・電子メールに応募用紙と楽譜データを添付してください。
- ・1メールにつき1セットの応募をお願いします。複数応募の場合はメールを分けてください。

・送信先：jce7@jcenet.org（第7回日本伝道会議事務局、お問い合わせもこちらに）

著作権等に関する事項

1. 応募作品は、未発表のオリジナル楽曲かつオリジナル音源に限ります（サンプリング不可）。他者の著作権や原盤権を侵害する楽曲・音源による応募はできません。
2. 採用作品の著作権、使用权に関する一切の権限は、全てJCE7実行委員会に無償で譲渡していただきます。
3. 応募者は、選考結果の発表まで応募作品を他に公表しないものとします。
4. 応募作品は、作者のオリジナル作品で、第三者の著作権等の一切の権利を侵害しないもの、他の作品と類似していないものを提出してください。
万が一これらの事項に違反していることが判明した場合には、採用を取り消すことがあります。取り消した場合、感謝状および副賞を返還していただきます。
5. 応募者の責めに帰すべき事由によって、応募作品に著作権に関わる問題等が発生した場合、JCE7実行委員会では一切の責任を負いかねます。全て応募者の責任で解決してください。また、応募作品に関連してJCE7実行委員会が損害を被った場合は、応募者に対して損害賠償を求める場合があります。
6. 採用作品は、採用作品の応募者と協議の上、加工または修正を行う場合があります。

個人情報の取り扱いについて

1. 応募者の個人情報は、本企画に関する用途以外の目的には使用しません。
2. 採用者の情報については、本人確認、了承を得たうえ、公表させていただく場合がございます。

応募等に関する注意事項

1. 応募に要する費用については、応募者の負担とします。
2. 応募作品は提出後に修正することはできません。修正する場合は再度ご応募ください。
3. 送付いただいた応募作品は返却いたしません。
4. 採用作品は元データの提出をお願いする場合がありますので、選考結果が出るまで元データは保管をお願いします。
5. 以下に関する通知・問い合わせは対応いたしませんので、ご了承ください。
ア 選定過程 イ 選定結果、理由について

応募をもって本募集要項に同意いただいたものとみなします。

以上

*ご参考

別紙：JCE7 テーマ説明文

「見よ、わたしは新しいことを行おう。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒地地に川を設ける。」
イザヤ書 43 章 19 節

「その後、私は見た。すると見よ。すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数えきれないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち、白い衣を身にまとい、手になつめ椰子の枝を持っていた。彼らは大声で叫んだ。『救いは、御座に着いておられる私たちの神と、子羊にある。』」

ヨハネの黙示録 7 章 9-10 節

これまで 6 回に亘って開催されてきた日本伝道会議は、聖書を「信仰と生活の唯一の規範となる神のことば」と信じる福音的な教会が、主イエス・キリストの宣教命令に、互いに力を合わせて従っていくことを目的として開催されてきました。そして JCE 7 は、前回の JCE6 において提示された「リ・ビジョン」を構築する 7 年間の準備期間をもち、日本の宣教の方向性を新たに打ち出す使命を担っておりました。

しかしながら、2019 年末からコロナ禍に見舞われた社会の生活環境や様式は激変し、キリスト教会もまた、教会のあり方や宣教の方策を含め本質的な事柄への問いかけが求められています。ある意味「リ・ビジョン」よりも、むしろ「リセット」という語を意識させられる状況に私たちは生きているのです。

もちろん、私たちキリスト者にとって、それは神による摂理的な機会と思わされるものであり、それは神の御旨を覚え、皆が御前にひれ伏して神に聞き、上からの方向性を教えていただく大切な時代にあることを意味しています。そこで、今回の JCE 7 のテーマは、これまでのプロジェクトの働きを評価しながらも、神による全く新たな可能性、いわゆるコペルニクス的転回（発想法を根本的に変えることによって、物事の新しい局面が開かれること）を生み出すものとなることを期待し、プログラム局として以下のテーマを提案するものです。

「おわり」から「はじめる」宣教協力

私たちにとっての「おわり」とは、第一に、今の教会が直面している行き詰まりに等しい状況、つまり今やらなければ後がない状況としての「正念場（おわり）」であり、第二は、神が計画しておられる教会の完成のビジョンとしての「ゴール（おわり）」から考えること、そして第三に、開催地域である「尾張（おわり）」、それは各自の地域の現状から出発するという三重の意味を持っています。

そして「はじめる」とは、第一に、日本の宣教の歴史を振り返り、日本の教会に根付いている教会の習慣や文化などを聖書から見直し、捨てるべきものを捨て、終わらせるものを終わらせることを「はじめる」機会とします。第二に、複雑になりつつある社会の変化に目を向けて、災害、環境破壊、少子高齢化、デジタル化、国際政情不安、多文化共生などの課題に教会がしっかりと向き合い、宣教の働きを新たに「はじめる」ことを意味します。そして第三に、このコロナ禍を神の摂理的な機会と受け止め、日本宣教の転換点となる新たな取り組みを「はじめる」時とする、三重の意味を持ちます。

こうして「おわり」から「はじめる」ために、JCE 7 においては、日本の教会間協力による宣教を聖書原則に基づいて、根本から深く考え直してまいります。そして、神が新しく始めようとしておられることへ共に参画していくために、教団・教派及び宣教団体の諸事情や性質、また相克を乗り越えるべく、お互いが胸襟を開いて語り合い、一つの具体的な方向性を共に見出す時としてまいります。

かつて桶狭間の戦いとその後の流れを変えた如く、今回の東海地域で開催される JCE7 において、日本の福音派のみならずキリスト教界の流れを大きく変えようとしておられる神がおられます。その神に互いに聴き、神のみこころを知り、神と共に踏み出す大切な時となることを願いながら、共に JCE7 を作り上げてまいりましょう。

ポスター用のテーマ

「おわり」から「はじめる」宣教協力 （多様性、デジタル化、本質を考える時代にできること）